



安田敏彦画 「項羽」
東京国立博物館蔵 大正5年(1916)
Image: TNM Image Archives

月間特集 近代絵画と能

定例公演 2月15日(水) 午後1時開演

能 狂言
項子 盗人
羽 大藏彌右衛門(大蔵流)
浅見 重好(観世流)

普及公演 2月18日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない

画家は何を描くのか
— 画題と能画 —
小林 健二
(国文学研究資料館名誉教授)

能 狂言
枕釣 慈童 針
出雲 康雅(喜多流)
三宅 右矩(和泉流)

企画公演 2月23日(木・祝) 午後1時開演

◎ 蠟燭の灯りによる

能 狂言
鶺鴒 吹取
観世鏡之丞(観世流)
善竹大二郎(大蔵流)

予約開始 1月10日(火) 午前10時～ 窓口販売開始 = 1月11日(水)
〈チケット売場 午前10時～午後6時〉 ※窓口販売用に別枠での取り置きはございません。

〔電話〕国立劇場チケットセンター 〈午前10時～午後6時〉

0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

〔インターネット〕

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

入場料金 〈定例・普及公演〉 正面¥5,000・脇正面¥3,300・中正面¥3,000
学生：脇正面¥2,300・中正面¥2,100
〈企画公演〉 正面¥6,400・脇正面¥4,900・中正面¥4,000
学生：脇正面¥3,400・中正面¥2,800

※定例公演・普及公演は字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。
新型コロナウイルス感染予防の対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。詳細はホームページをご覧ください。

National Noh Theatre
February 2023

Noh/Kyogen Performances: February 15 (Wed.) 1 pm, February 18 (Sat.) 1 pm, February 23 (Thu.) 1 pm
Tickets: ¥3,000-¥6,400 On Sale: January 10 (Tue.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00[JST])
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm Individual subtitle monitors are available in both English and Japanese except February 23 (Thu.) 1 pm.

定例公演 字幕

2月15日(水) 午後1時開演

子盗人

狂言【大藏流】
シテ/博奕打 大藏 彌右衛門
アド/乳母 大藏 彌太郎
アド/亭主 大藏 教義

項羽

能【観世流】
前シテ/老人 浅見 重好
後シテ/項羽 坂井 音晴
ツレ/虞氏 坂井 音晴
ワキ/草刈男 福王 知登
ワキツレ/草刈男 矢野 昌平
ワキツレ/草刈男 村瀬 昌平
アイ/護守 善竹 忠重

武田 祥照 清水 義也
武田 宗典 藤波 重孝
坂井 音隆 藤波 重彦
坂口 貴信 角 幸二郎
地謡 武田 上田 公威
終演予定午後3時15分頃

普及公演 字幕

2月18日(土) 午後1時開演

画家は何を描くのか

狂言【和泉流】
シテ/太郎冠者 小林 健二
アド/主 三宅 右近
小アド/申し妻 高澤 祐介
立衆/腰元 前田 晃一
立衆/腰元 大塚 光生
立衆/腰元 小飯塚 光生
小アド/乙 三宅 近成

釣針

能【喜多流】
シテ/草童 出雲 康雅
ワキ/勤使 野口 能弘
ワキツレ/従者 野口 能弘
ワキツレ/従者 吉田 祐弘
ワキツレ/従者 小野寺 竜一

枕慈童

地謡 塩津 圭介 金子 敬一郎
粟谷 浩之 粟谷 明生
粟谷 充雄 大村 定
大島 輝久 長島 茂
終演予定午後3時30分頃

企画公演

2月23日(木・祝) 午後1時開演

蠟燭の灯りによる

狂言【大藏流】
シテ/男 善竹 大二郎
アド/何某 善竹 十郎
アド/乙 大藏 教義

吹取

能【観世流】
前シテ/老人 観世 鍊之丞
後シテ/團扇大王 森 常好
ワキ/旅僧 館田 善博
ワキツレ/従僧 大藏 基誠
アイ/所の者 大松 弘之
小鼓 大倉 源次郎
大鼓 山本 哲也
後見 清水 寛二

青木 健一 観世 淳夫
安藤 貴康 浅見 慈一
谷本 健吾 馬野 正基
長山 桂三 北浪 貴裕
終演予定午後3時頃
※上演中の入退場はご遠慮願います。
※字幕表示はございません。

能楽若手研究会東京公演

2月25日(土) 午後1時開演

杜若

能【観世流】
シテ/杜若の精 坂 真太郎
ワキ/旅僧 館田 善博
小鼓 八反田 智子
大鼓 田邊 恭資
大鼓 柿原 光博
後見 林 雄一郎
観世 喜正
坂 貴信

因幡堂

狂言【和泉流】
シテ/夫 内藤 豪
アド/妻 飯田 藤
中森健之介 清水 義也
桑田 貴志 浅見 重好
小島 英明 山階彌右衛門
佐久間二郎 角 幸二郎

通小町

能【宝生流】
シテ/探検少将 澤田 宏司
ツレ/小野小町 東川 尚史
ワキ/僧 村瀬 寛人
前 成田 充彦
小鼓 住駒 慶乃助
大鼓 大倉 慶乃助
後見 今井 泰行
辰巳 和磨 山内 崇生
今井 基 辰巳満次郎
川瀬 隆士 高橋 亘
辰巳大二郎 小倉健太郎
終演予定午後4時10分頃

《月間特集・近代絵画と能》

演目と同じ題材が描かれた絵画とともに能の魅力味わう「絵画と能」シリーズの八回目。近代を代表する画家たちが描いた名画を補助線として、能の魅力をお楽しみいただけます。子盗人 有徳人の家へ盗みに入った男は、座敷で寝ている赤ん坊を見つめます。あまり可愛らしく、目的を忘れてあやし始めますが…。赤子の守りをする様子が何とも微笑ましい狂言です。四面楚歌の項羽、妃との愛 項羽 草刈男に虞美人草の由来を説く老人はかつての楚の大将・項羽でした。項羽の霊は活躍華やかなりし頃を偲びつつも、妃・虞氏との非情な別れや、漢の高祖との最期の戦いのさまを劇的に再現して見せます。

◇ 絵画作品II 安田毅彦「項羽」 釣針 独身の主人と家来は西宮の夷様に折ると、釣針で妻を釣るようにとの託宣を受けます。お告げのとおり釣針を見つけ早速釣り始めると…。二人は素敵な連れ合いを得ることができそうです。菊葉より滴る薬の水

◇ 絵画作品II 堀田半古「菊慈童」 枕慈童 魏の文帝の命で勅使は薬の水が湧き出たとされる鄜縣山へと赴きます。そこで出会った七百年の長寿を保つ美しい童子は、王より賜った枕について語り、菊花咲き乱れる仙境に戯れ、言祝ぎの舞を舞います。

◇ 絵画作品II 川合玉堂「蠟燭」 蠟燭の灯りによる ゆらめく蠟燭のほの暗い灯りの中に、幻想的な世界が広がります。吹取 月夜に五條大橋で笛を吹くと妻を授かるという観音様のお告げを得た男は、笛が吹けないので代わりに知り合いに吹いてもらいますが…。

◇ 絵画作品II 堀田半古「菊慈童」 鶴舟に焚かれた篝火の光と影 鶴舟 殺生禁断の老地の漁を亡した罪で川に沈められた観鯛の老の亡霊は、僧に観鯛の様子を見せ姿を消します。僧が用いたため川石に法華経を記すと、やがて閻魔大王が現れ、経の功德で老人が成仏したことを告げます。生きる上での罪業と死後の救済を主題に据えた作品です。

◇ 絵画作品II 川合玉堂「蠟燭」